

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和5年度第1回教育委員会事務事業点検及び評価に関する有識者会議
開 催 日 時	令和5年4月14日（金） 午後6時00分から午後6時30分まで
開 催 場 所	市民会館（さくらホール）研修室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：教育に関し学識経験を有する者、教育に関し識見を有する市民、 公募に応じた保護者 事務局：教育長、教育総務課長、同課教育政策係長、主事
議 題	(1) 令和5年度教育委員会事務事業点検・評価の実施方法について ア 点検・評価の流れについて イ 二次評価事業について ウ 報告書の構成について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題(1)について ア 点検・評価の流れについて 今年度の会議の開催回数は、今回を含め4回を予定している。 一次評価対象事業について事業担当課で一次評価を行い、5月上旬を目途に教育総務課から有識者の皆様に、一次評価調書を御確認いただく。一次評価調書を基に委員の皆様に質問票を作成いただき、5月中旬までに教育総務課へ提出をお願いできればと思う。 質問票は事前に有識者の皆様から質問をお預かりし、第2回及び第3回の会議において、事業担当課から回答をさせていただくためのものである。 第2回の会議を5月下旬、5月25日頃を目途に、第3回の会議を6月上旬、こちらを6月1日頃をイメージしているが開催させさせていただき、計2回の会議を通して点検評価対象事業について、事業担当課を交えて質疑をしていただきたいと思います。 6月中旬までに有識者の皆様に二次評価及び総括の御提出をお願いできればと思う。 委員の皆様に御提出いただいた二次評価及び総括に基づき、事務局で報告書案を作成し、6月下旬から7月上旬、7月5日頃を目途に第4回の会議を開催させていただき、事務局で作成した報告書案の内容について確認をしていただきたいと思います。 その後7月の教育委員会定例会に議案として上程し、9月の市議会定例会において報告したいと考えている。 なお、本日の会議において決定された点検及び評価の実施方法については、5月23日の教育委員会定例会において報告をさせていただきたいと考えている。 イ 二次評価事業について 二次評価事業についてであるが、教育委員会事務事業点検評価を実施する評価対象については、武蔵村山市第三次教育振興基本計画で示されている50の具体的施策とする。 事業担当課が行う一次評価については資料2、令和5年度実施令和4年度教育委員会事務事業点検評価対象事業一覧で3ページに記載の達成状況を設けている。 評価はSからEの6段階で設定し、その年度における施策の目指す目標の達成度、目標に対する取組状況や具体的成果、現状の改善度合

	<p>い及び実施した事業の内容を点検し、総合的に評価することとする。今年度は事業担当課による一次評価を行った事業を、委員の皆様には武蔵村山市第三次教育振興基本計画に定める16の基本施策ごとに、包括的に二次評価を行っていただきたいと考えている。</p> <p>ウ 報告書の構成について 報告書の構成についてであるが、報告書の構成につきましては前年度のものと同様の構成を考えている。 1 実施方法、2 点検及び評価結果、3 教育委員会の活動、そして資料という構成としている。</p> <p>議題(2)について 次回以降の日程調整をさせていただきたく日程調査票をお配りした。皆様からの日程を確認した上で、事務局から改めて通知をさせていただきます。</p>
<p>審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p> <p>(発信者) ○印：委員 ●印：事務局</p>	<p>(1) 令和5年度教育委員会事務事業点検・評価の実施方法について ア 点検・評価の流れについて ○ 評価対象が広がったことで、会議日程が1回増えたということと考えてよいか。 ● そうである。今回数で申し上げると、50項目あることから、ある程度の時間は必要かと考えており、おそらく関連する部署も参加するような内容の規模になると思われることから、このように2回に分けて、会議を設けさせていただければと考えている。 ○ これは全ての事業担当課から報告されるということか。 ● お見込みのとおりである。関連する場合もあるので、全部署に2回とも参加をしていただこうと考えている。</p> <p>イ 二次評価事業について ○ SとAの基準について、事業担当課の方で分かればいいが、Sの基準については具体例で挙げる等何かしないと事業担当課がSを付けづらいのではないかと。Sを付けることがいけないわけではない。何かSが付けにくいような感じの基準にならないような評価基準があるとよい。 ● 確かに事業担当課と事務局の評価に付け方について差があると思われる。 ○ 事務局でレベル感は統一する必要があると思うが、御指摘いただいて、事業担当課の方は、なかなか感覚的に付けづらい部分があるのかと思うので、まずその基準を具体的に示すことで、適正に統一的なレベル感で評価できるように少し工夫したらどうか。</p> <p>ウ 報告書の構成について ○ 一次評価と二次評価の違いというのは、どこかに説明があるのか。 ● 昨年御指摘いただいたとおり、これまでは事業を絞るという評価方法で行っていた。昨年度から変更点があるので評価のやり方、評価の考え方については冒頭で変更点について記載することから始めていくべきと考えている。 ○ 今年度の評価は、全ての事業に対して、一次評価と二次評価があるということか。 ● まず一次評価調書については具体的施策、これを基に関連する事業について、具体的施策単位で一次評価調書の作成を考えており、二次評価については基本施策を基に、二次評価を包括的に全体として、評価をい</p>

	<p>ただきたいと考えており、評価の対象を全体にして、かつ、二次評価も全体的にいただくというような内容で考えている。</p> <p>○ 全体的な具体的施策が50あるが、基本施策としてのカテゴライズが16なので、我々が行う評価は16項目であると認識したが、よろしいか。</p> <p>● お見込みのとおりである。基本施策の16項目を評価していただくことで、この計画書全体を評価していただいたことになる。</p> <p>○ 有識者がこの3人が必ず16項目に全部、3人の意見が入るということか。それとも、誰かの意見が入っていればいいのか。</p> <p>● 事務局としては全員から御意見をいただきたいと考えている。自治体によってはパート分けし、例えば社会教育の部分に分けているというのは拝見している。今回は、全てをお三方にということでお願いできればと考えている。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ( )	傍聴者： _____人
-------------	---	-------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： _____ ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： _____ )
--------------	---

庶務担当課	教育部 教育総務課 (内線：423)
-------	--------------------

(日本産業規格A列4番)